

神ギ協

神奈川ギター協会
〒251-0875
神奈川県横浜市金沢区富岡西2-11-3
高久敏春ギター教室内
045-771-3531
2025/8/1発行(編集責任者 伊藤亘希)

●第53回神奈川新人ギタリストオーディション

2025年7月13日(日)神奈川県横浜市磯子区民センター「杉田劇場」神奈川ギター協会主催

(写真:神奈川ギター協会名誉会員 川俣 明)



入賞者と入選者、ゲスト審査員の富川勝智氏

2025年7月13日(日)神奈川県横浜市磯子区民文化センター「杉田劇場」で、第53回神奈川新人ギタリストオーディションを開催した。本選ゲスト審査員には富川勝智氏を迎えた。

予選は課題曲Op.60-7(カルカッシ)&3分以内の自由曲、本選は課題曲エストレリータ(M.M.ポンセ)&6分以上10分以内の自由曲が演奏された。今年は39名の応募があり6名が本選に進み、宮永貴澄、伊藤陽夏の2名が入賞(合格)、西川道弘、林 瞭太、杉山悠也、鶴田珠美の4名が入選となった。なお、特別賞(本選に進めなかった人で年齢が50歳以上の成績上位者)は村松 淳が受賞した。



＜入賞・合格＞宮永貴澄

＜入賞・合格＞伊藤陽夏

＜特別賞＞村松淳

本選演奏曲

林 瞭太:ハンガリー幻想曲(J.K.メルツ)

宮永貴澄:森に夢みる(A.バリオス)

杉山悠也:主題、変奏と終曲(M.M.ポンセ)

伊藤陽夏:オートウイユの夜会(N.コスト)

鶴田珠美:最後のトレモロ(A.バリオス)、シンプリシタス(J.イルマル)

西川道弘:ソナタ op.15-2(F.ソル)

本選審査結果集計表

	演奏者氏名	高久	富川	石田	川俣	井上	多治川	茂木	酒井	志田	平均点	合否
1	林 瞭太 (はやし りょうた)	87	78	80	81	79	76	79	74	78	79.1	
2	宮永 貴澄 (みやなが たかすみ)	90	80	82	80		81	83	82	83	82.6	○
3	杉山 悠也 (すぎやま ゆうや)	85		76	76	77	75	82	75	77	77.9	
4	伊藤 陽夏 (いとう はるか)	88	84	83	78		78	80	76	79	80.8	○
5	鶴田 珠美 (つるた たまみ)	80	74	74	71	75	74	75	72	74	74.3	
6	西川 道弘 (にしかわ みちひろ)	86	82	77	75	82	77		78	80	79.6	

*空欄は師弟関係により審査対象外

以下、富川勝智氏にご寄稿いただいた講評を掲載する。

どのコンクールであっても、本選の舞台の緊張感は独特です。今回の「神奈川新人ギタリストオーディション」でも、審査員席から演奏者各自の緊張が認識できました。ですが、その緊張で普段の練習で身体に入っているものだけが顕になります。そしてその奏者の資質がはっきりとわかるものです。

まずは入賞者2名についての印象を述べます。宮永貴澄さんの演奏は端正なトレモロが印象的でした。トレモロの均質な粒だちの良さは旋律の持続性を演出します。その意味で「ずっと聴いていたい」トレモロでした。その一方で不足と感じるものは拍節感（メトリック）。旋律の持続感ばかりに耳がいき、土台がない。三拍子らしいプロポーションが感じられるだけで、それに抗う旋律の横の流れはより一層際立つはずです。

伊藤陽夏さんのコストの演奏は丁寧な楽譜の読解が感じられる好演でした。音色もしっかりと抜けがよく、会場にしっかりと響き渡っていました。ロマン派の音楽には前の時代とは逆行した感覚のダイナミクスが付されている場合が多く、コストの楽曲の場合にもその意味を吟味しなくてはなりません。ロマン派独特の音楽のエネルギーの溜め込み感や空虚感を自分の中にしっかりと感じながら演奏しなければなりません。その演奏家としての実感がもっとあればより真実味のある音楽が聴衆に伝わったと思います。

次に入選者4名の演奏の印象を述べます。杉山悠也さん。課題曲と同じ作曲家ボンセの「主題、変奏と終曲」を選択したことは評価に値します。課題曲は歌曲としてのロマンティシズムがありますが、この「主題、変奏と終曲」にもボンセ独自の「歌心」があります。近現代の書法で書かれており、技術的に難易度の高い楽曲ではありますが、そのあたりに着目することでボンセという作曲家の資質を表すことができたはずです。

西川道弘さんは本選出場者の中で唯一古典曲を演奏。古典演奏の基本となる拍節感が希薄だったのが残念。不用意なタイムチェンジは拍節を崩します。演奏の根底にビート感をしっかりと感じながら、小節毎の拍の意味を考えるべきでしょう。

鶴田珠美さん。緊張のため、本来の実力を発揮できなかった様子。課題曲の準備も不十分だったようで、その後の演奏もスムーズにはいかなかった模様。とはいえ、最後までなんとか弾き切ったのは評価に値します。「最後のトレモロ」や「シンプリシータ」には技術が追いつかないながらも表現意欲を感じたので、今後は本番までの練習プランをしっかりと整えてください。

林瞭太さんは楽譜の読み込みに真摯さを感じます。とはいえメルツの楽譜にあるさまざまなダイナミクスのニュアンスを実感として感じ取れていたかという点、それは疑問を感じます。そして、それ以前にメルツの大胆なアゴーギクを実現するだけの技術が不足していると感じました。

本選課題曲はボンセの「エストレリータ」でしたが、ほとんど全ての奏者に欠如していたのは原曲の歌詞のニュアンスです。歌詞の意味内容、単語のアクセントの位置をしっかりと分析すれば、フレーズの歌わせ方のヒントが得られます。また二拍子としての拍節感を感じる演奏はほとんどありませんでした。正しい音楽へのアプローチがない限り、ボンセの作った名旋律の神秘は現れないのです。

以上、オーディション本選参加者のそれぞれの講評を簡略に述べましたが、入選した方にも入賞した方にも共通して「勉強が足りていないもの」があります。それは音楽をする上で最も大切なことかもしれません。引き続き研鑽を続けてください。

●入賞者インタビュー

①使用楽器 ②オーディションの感想 ③自由曲選曲の理由 ④今後の予定、目標

宮永貴澄

①小平ギター

②本選出場が決まったときはまだ自信がなかったのですが...本選1番目の方の演奏を聴いたらとても良くて、逆に覚悟が決まって「いつも通り演奏すれば大丈夫だ」と思うことができました。練習の成果は出せたと思います。

③「森に夢見る」を弾くのが一つの目標、まさに夢でした。今回この曲に挑戦できてよかったです。

④直近あるGLC学生ギターコンクールに向けて頑張っていきます。

伊藤陽夏

①寺町誠 MT-2 Spread DT 2021

②3度目の正直で入賞できて本当に嬉しいです。しかし自分の課題も新たに見つけることができました。これからは音楽性を磨いていきたいと思います。

③ロマン派がとても好きで、その中でも「オートウイユの夜会」はコンクール映えもするし、自分がしっくりくるので選びました。

④9/28(日)に横浜市青葉区市ヶ尾「クラシックギターの店ふえるなんど」主催で、先輩の小林愛美さんとジョイントコンサートを予定しています。是非お越しください。

西川道弘

①河野桜井スペシャルモデル

②予選は比較的思ったように演奏できました。本選はテンポが合ってなかったりミスをしたときに弾き直しをしてしまったので、弾き直ししなければよかったなと思っています。

③先生に提示していただいた曲の中でも、明るい雰囲気、情景の変化が良いと思ったのでこのソナタを選びました。

④次に出場するときは入賞したいです。

林 瞭太

①クリストファー・ディーン

②予選は失敗してしまい本選に残れないかと思いました。本選は比較的实力が出せたかと思ったが、昔からミスが多いのでまだまだ改善の余地があります。

③「ハンガリー幻想曲」は13-14歳のころに先生に選んでいただきました。抑揚があって面白い曲であり、ずっと弾いています。

④第一目標は神奈川新人ギタリストオーディションに合格すること。その後は他のコンクールも受けれたらと思っています。

杉山悠也

①川田一高・プレスティモデル

②人前で弾くのは勉強になるし、楽しんで演奏できました。

③「主題、変奏と終曲」はセゴヴィアの録音を聴いて感銘を受け、練習し始めました。あんな風に、なんともいえない暗さで弾けたらいいが、全然弾けない。練習していると気分が暗くなることもあります(笑)

④また来年のオーディションを目標にして頑張っていきたいと思っています。

鶴田珠美

①エドガー・メンヒ

②もともと両親がギターをやっていて、父のギターで出場しました。2回目で本選までたどり着けて本当に嬉しいです。これからは繊細な表現などをよく練習していきたいと思っています。

③先生から薦めていただきました。トレモロの曲は自分に合っていると思い、練習も楽しいので選びました。

④自分なりに、習ったことをよく考えながら練習していきたいです。

訃報

神奈川ギター協会2代目委員長を務められました山口昭三先生が、2025年3月8日に91歳でお亡くなりになりました。

山口先生は、神奈川ギター協会の立ち上げに尽力した中心メンバーのひとりでした。その当時は門下や派閥の色が濃い時代でしたが、それらの垣根を越えてギター界発展のために団体を作るべきという考えのもと、神奈川県内のギタリストをまとめて「神奈川ギター協会」を設立されました。

これが神奈川ギター協会のオープンな気風として、今に受け継がれているように思います。

●イベント報告

・総会

2025年2月24日(日)かながわ県民センター305会議室にて開かれました。

・神奈川ギターフェスティバル2025

2025年3月23日(日)神奈川ギターフェスティバル2025が横浜関内ホール小ホールで開催されました。今年も神奈川のギター愛好家や協会会員の演奏、前年のオーディション合格者のお披露目演奏がありました。バラエティに富んだ内容で大いに盛り上がりました。

・神奈川ギター協会員による春のギターフェスティバル

2025年5月6日(月祝)ひまわりの郷ホールにて開催されました。ソロから合奏まで、多彩なプログラムでお送りすることができ、盛会にて終演しました。

●イベント告知

昨年度神奈川新人ギタリストオーディション合格者による“デビューリサイタル”が開催されます。ご来場お待ちしております。会場:旭区民文化センター サンハート音楽ホール

日時:2025年9月13日(土) 14:00開演

料金:入場無料

●委員会から

・2026年神奈川ギターフェスティバルの日程は、9月1日以降にホームページに日程を掲載いたします。

・2026年第54回神奈川新人ギタリストオーディションの課題曲が決定しました。

【予選】スケルツォ / F.カルリ 【本選】練習曲op31-23 / F.ソル(版自由)

※オーディション時のプログラムに次回予選課題曲の作曲者記載に誤りがありました。修正すると共にお詫び申し上げます。

●暑気払いについて

毎年恒例の暑気払いは、8月15日(金)に開催します。

出席希望の方は委員長または副委員長までご連絡ください。

●協会のホームページについて

URL: <https://kanagawaguitar.net/> コンサート案内をリアルタイムで紹介しております。ご覧ください。

編集後記

8月末に初めて大阪万博に行く予定なので楽しみです。ただし大阪でのリハーサルと撮影が無事に終われば、の話なので、無事終わらなかったら行けません笑！

ちなみに、万博のクロアチアのブースにゾーランドウキッチ率いるクロアチアンギターカルテットが来てたんですね。終わってから知りました...(伊藤)